2019.04.07

ネコの名前の理解

小嶋祥三

ネコが自分の名前を理解しているという研究が新聞やテレビで報道されていた。この報道に対する海外の人々の意見が載っていたので読んだが、ネコを飼っている人ならそれは知っていることだろう、という感じの意見が多かった。この論文を読んでいないが、多くの人が知っていることでも、条件を統制して科学的に検討することには意味がある。

わたしがチンパンジーでやった研究は、この逆向きで、チンパンジーは声でチンパンジーやヒトを同定できるかというものだった。それを明らかにするのに数年の訓練が必要だったが、フィールドの研究者の中には、そんな結果は当たり前で、興味深いものではないと思っている者がいたようだ（無論、評価する研究者も多数いたが)。

そんなわけで、ネコの研究に対する海外の批判的な意見には、論文の著者を擁護するのにやぶさかでない。ただ、マスコミで大騒ぎ？する内容ではないだろうと思う。チンパンジーのじゃんけん研究の報道も併せて考えると、比較認知科学なるものの現在の姿が見えてくるとの感想を持つ。見惚れてしまうような姿からは程遠い。